

連携型中高一貫教育校の現状と課題

資料 4

学校	内容
芦原中 金津中 連携クラス あり 3年 45人	<p>【芦原・金津】 国語・数学の発展学習（古典文法、数学Ⅰ） ○10月から週1時間 1月下旬から週2回（中高の教員TT）</p> <p>【金津】 英語の発展学習（長文読解） ○週1時間 1月下旬から週2回（中高の教員TT）</p> <p>その他行事 ○サマーハイスクール（夏季休業中）等で国数英 各3時間</p>
金津高校 連携クラス 2組あり 1年 33人 2年 39名 3年 44名	<p>※連携クラス生徒は全員、金津高校に入学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携クラスと一般クラスがあるがカリキュラムは同じ ・2年から連携クラスと一般クラスが、それぞれ文系・理系に分かれる

学校	内容
朝日中 宮崎中 越前中 織田中 連携クラス なし 登録数 3年 27人	<p>【朝日】 英語・数学 ○1・2学期 週1回（TT） 通常授業</p> <p>○3学期 週4回（高校教員が授業） 中学の復習と発展学習 （発展学習：数学Ⅰ、英語表現Ⅰ、コミュニケーションⅠ）</p> <p>【宮崎・越前・織田】 英語・数学 町雇用の非常勤講師（高校免許）が授業 ○1・2学期 週4回（TT） 通常授業（全生徒）</p> <p>○3学期 週4回（講師が授業） 中学の復習と発展学習 （発展学習：数学Ⅰ、英語表現Ⅰ、コミュニケーションⅠ）</p> <p>【共通の行事】 ○大学訪問（福井大学） ○「土曜スクール」で金大附属高校スーパーティーチャー講座 ○サマースクールやウィンタースクールで地域探究や英検対策講座を実施</p>
丹生高校 連携クラス 1組あり 1年 17人 2年 24人 3年 20人	<p>※連携クラス生徒は全員、丹生高校に入学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学・英語に関して連携クラスの進度が若干早い ・1年次で数学Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅱを設定 ・2年次でコミュニケーション英語Ⅲを設定

学校	内容
美浜中 三方中 上中中	【美浜・三方】英語・数学 ○1 学期 週 1 回 中学の復習・発展 ○2 学期～ 課外授業 中学の復習・発展（英語は検定試験） ○3 学期～ （今年度より 2 月の発展学習を追加実施）
連携クラス なし 登録数 3 年 42 人	【上中】英語・数学 ○夏季休業中の集中講座 2 時間～3 時間 中学の復習・発展 ○2 学期～ 課外授業 中学の復習・発展（英語は検定試験） ○3 学期～ （今年度より 2 月の発展学習を追加実施）
美方高校 連携クラス なし 1 年 18 人 2 年 25 人 3 年 23 人	※連携クラス生徒は（様々な高校に入学）連携クラスを退出し（11月下旬）、他の高校を受験することも認めている。 ・連携クラスはなし

成果

- ①連携クラスは少人数のため手厚い指導が可能である。
- ②中学3年次から高校卒業後の進路について意識を持つことができる。

課題

- ①中学校で「選択教科」の授業がなくなり、数学や英語等の教科において、発展的な授業が難しくなった。
- ②児童生徒の減少により、中学校の連携クラスの生徒の確保が難しくなっている。

(金津)

- ①生徒の確保、魅力ある中高一貫したカリキュラムづくりが課題となっている。

(丹生)

- ①高校で少人数の単独クラスを編成しているため、高校入学後3年間クラス替えがない。中学・高校を通して学習意欲を高める工夫が必要となっている。

(美方)

- ①生徒の確保や中高一貫教育の特色化が課題となっている。